臺灣日日新報 第一萬四千四百七十三號 (一) A
（第二版）（明治卅一年五月九日第三種郵便物認可） 昭和十五年六月二十八日（金曜日）
臺灣新民報 夕刊 六月二十七日
夕刊定價一部二錢

第十六次重慶空爆

【30基地二十六日發同盟】中支那派遣軍報道部發表—二十六日重慶地區は第十六次目の爆撃を受けひ同日及び同夜に亘り敵航空機延べ百機は來襲せり

爆煙重慶内外を蔽ふ

【30基地二十六日發同盟】二十六日午後一時三十分現在、三階、号、右田各部隊を除下の重慶地區は晴天なるも濃厚な煙塵は上部火を包つて重慶全市を蔽ひ、又揚子、嘉陵兩江岸の各所に於ても猛火を發し、又揚子、嘉陵兩江岸の各所に於ても猛火を發し、又揚子、嘉陵兩江岸の各所に於ても猛火を發し

盟邦の皇帝陛下
御入京第二日の御日程

【東京二十七日發同盟】二千六百年の悠久を誇る我が國體に輝やかしき入京第一夜を過させられ感激と昂奮の渦巻く帝都の國民は今日二十八日更に明治神宮に御親拝あらせられる陛下を奉迎し奉らんと朝早くから靖國通りを埋めつくし、宮城前廣場から明治神宮に至る沿道は人の波で埋まり、交通は全く杜絶した、午前十時陛下には御羽織袴の御姿麗しく宮城正門から儀仗兵に護られた御馬車に召され、侍從武官長、侍從長、侍從職幹事、侍從武官を隨へられ、次いで皇后陛下には御洋装にて御馬車に召され、侍從長、侍從武官長、侍從職幹事、女官を隨へられ、次いで皇太

肺病を治した體驗談

五年間も患つた肺病を治した私の全快體驗談

東京　小川〇造氏談

私は今から五年前の冬の寒い頃から烈しいセキが出て微熱が續き、時々喀血がありましたが風邪とばかり思つてをりましたがいつ迄經つても治らず、セキや痰が多くなり食事も進まず身體が衰弱してセキ元氣がないので心配になり見て戴びましたら肺病が相當に進んでゐるので絶對安靜をしたり榮養を取つたりしましたが病勢は益々惡くなるばかりなので仕事は勿論一切休んで專心療養に努めましたが一向に良くなりませんでした。この時分は丁度支那事變の最中で軍需品の製造で非常に忙しい時でしたが自分の體ばかりは仕方がないので思ひ切つて休業することにし、千葉縣の保田海岸へ轉地しましたがキヅバリ治る見込もないので肺が惡くて

セキで

苦しんだが

（前略）吉田〇民談

私は昨年一月頃から痰がしだいに殖えて心配しましたが仕事の關係がありまして一日も休むことが出來ず、又セキが出ますと仕事が出來ないので大變良くないなりましたが、セキ丈けがどうも止らず、夜分になりますとセキがひどくなりセキの爲めに睡眠も充分に出來ず、又食慾も減退してゐるので體力は日に日に衰弱して行くばかりでした。此セキさへ止れば何んでもないものと思つてゐましたが、或日新聞に載つた肺のセキの名藥が見當り廣告の通り用ひましたが效果が著しく效くのに驚いてしまひました。其の時の瓶は昨年六月頃から服用したのですが、今年は一月頃から又セキが出始めましたので、又同藥を用ひましたが、今度は前回程效果がなく、二月分程服用しましたが、どうしても痰が出ます

星ぞら (81)

……上原輝吉郎作……

井伏鱒二
小林秀恒 挿絵

披露會の夜 (四)

加奈江の家は披露會のうちに定った。

「あら、勿體ない……」

彼女は勿體のそばに膝を寄ろうとして、うっかり加奈をぬきさってるところではがついた。初めこのうちを勧めて來てまだ取次きも聽はないうち、玄關にあがり込んで行くというふ法はないのである。勿體は苦い顔でちっと彼女をにらつけてやる。

彼女は勿體の手前、勿體しぶった。

「ほらって、勿體がいやしたら……」

もうそれのきりで、彼女は口がきけなくなった。ほんとに勿ひたくてたらなかったといふ氣なとも云へなかった。勿體したくてたまらないことがどうさう由ほど勿體もってる。

彼女は勿體が何かふってくれるのを待ちかねてゐた。それなのに勿體は依然としたお顔にタオルを巻き、胸高い顔でちっと彼女のみつめてゐる。勿體なしお自しくして、ただりをかしてゐるだけである。彼女に勿體をさせてもと、引き取りの勿體花嫁である。

勿體は手ヒゴコ彼女うして彼女の手に勿體かけられた。

勿體はテヒゴコ彼女うして彼女の手に勿體かけられた。

そのとき取から、女中が次のに勿體れた。

「御客さまです」

きう云って、勿體の例を通りすぎた。女中はそれが勿體するときの勿體しく、首風に手を当て勿體の加奈なたに向かって勿體にみ勿體をした。

「いらっしゃいませ……今待たせいたしましたら、どうぞまでいらっしゃいませう」

その間に、勿體の客は勿體のドアのかげに姿をなくなった。しかなのドアは、ゆるくがたんと勿體て勿體られた。

加奈なは勿體となつた。既に勿體もうてはならかと彼女の勿體れて、彼女はうほかなかった。勿體は勿體のやうなものが込み上げて來て、服次きの女中に口をきくのも勿體やしどろもどろの有様だった。

ところが勿體はまるでその勿體に、彼は加奈江に会へたので私服でもあったのでドアを勿體よく勿體たのであった。

しかも加奈江は勿體にしてみるやうな力かに口をきいてくれたのである。彼は大江のそばに

花道一夕話 (四)

流派と花型

二、古流とは？

さて、古流には次の流派と傳へてゐるものが十人はとある。しかし、その中のどれが正統と認してゐるものであるかは勿體しない。これの流のあるは大體分類されてゐる。一般的としては勿體流、勿體流、勿體流が勿體する流、勿體流、勿體流、勿體

臺灣日日新報　第一萬四千四百七十三號　昭和十五年六月二十八日（金曜日）　（第二種郵便物認可）　（明治卅一年五月九日第三種郵便物認可）

臺灣日日新報
本日夕刊共十二頁

明江を完全占領

○○へ向けて猛進撃

【南京二十七日發同盟】揚子江北岸の○○作戰に從事した○○○

社說

切符制採用と暴利取締令
統制強化がまだまだ手緩い

一

切符制採用と暴利取締令とは中央と呼應して近く臺灣に實施されるが、島内消費に對して所謂切符制を採用し、一方暴利取締令を強化、暴利行爲や不正取締を嚴重にせしめることになつたら、取締令の强化と言ひ、切符制度採用と言ひ、何れも善人が迷惑三昧の擾を主張してゐたものである。兎に角今般の二つの措置を以てしては、法の不備缺陷に乘じた不正、即ち統制が國民生活を壓迫するの外なく、從來暴利取締に關聯するの外なく、從來暴利取締に關聯するの外なく、從來暴利取締に關聯

砂糖切符制の實施

石炭會社創立と當局の方針

……松岡殖産局長語る

業務開始にも自ら差異あり、各事業體に於ても夫々の特色を持たねばならぬので、目下その實現の爲の研究を急ぎつゝあるが、殊に石炭の他燃料に比べて特殊の點からも各方面を通じ極力の節約を圖りつゝある砂糖の切符制……もその一つである

石炭會社……の問題に關聯して松岡殖産局長は次の如く語つた

石炭會社……の人事については目下その内定に努めつゝあるが、問題は寧ろ今後の事業問題の解決にあり、殊に石炭會社は從來の石炭業者の單なる集合體ではなく、新たに大陸の資源開發の一翼を擔ふ國策會社として、その使命達成の爲には從來の石炭業者の協力は勿論、一般民間資本の動員をも必要とするであらう、從つて會社の經營方針も從來の石炭業者の立場のみに偏することなく、廣く國家的見地に立つて、大陸資源の開發に邁進すべきは勿論である

砂糖の切符制……もその一つで、目下その實施の爲の研究を急ぎつゝあるが、砂糖は國民生活上缺くべからざる必需品であるから、その配給統制の實施に當つては、極力國民の負擔を輕減し、且つ生産者の利益をも考慮して、公平適正なる配給を行ふ樣、特に意を用ひたいと思つてゐる

工業組合員會……の人事については目下その内定に努めつゝあるが、問題は寧ろ今後の事業問題の解決にあり、殊に石炭會社は從來の石炭業者の單なる集合體ではなく、新たに大陸の資源開發の一翼を擔ふ國策會社として、その使命達成の爲には從來の石炭業者の協力は勿論、一般民間資本の動員をも必要とするであらう、從つて會社の經營方針も從來の石炭業者の立場のみに偏することなく、廣く國家的見地に立つて、大陸資源の開發に邁進すべきは勿論である

麻袋の回收方策

米穀局と會社間に協定成る

米穀局の當局に於ては從來麻袋の回收に關しては極力その實施に努めて來たが、最近に於ける麻袋の配給狀況に鑑み、更に一段の回收方法を講ずる必要を認め、今回左の如き回收方法を決定、實施することとなつた

一、麻袋の回收に關しては從來の回收方法に依るの外、新たに次の方法を講ずること

二、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

三、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

四、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

五、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

六、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

七、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

八、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

九、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

十、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

十一、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

十二、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

十三、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

十四、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

十五、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

十六、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

十七、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

十八、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

十九、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

二十、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

二十一、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

二十二、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

二十三、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

二十四、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

二十五、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

二十六、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

二十七、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

二十八、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

二十九、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

三十、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

三十一、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

三十二、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

三十三、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

三十四、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

三十五、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

三十六、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

三十七、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

三十八、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

三十九、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

四十、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

四十一、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

四十二、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

四十三、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

四十四、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

四十五、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

四十六、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

四十七、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

四十八、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

四十九、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

五十、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

五十一、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

五十二、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

五十三、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

五十四、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

五十五、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

五十六、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

五十七、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

五十八、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

五十九、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

六十、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

六十一、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

六十二、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

六十三、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

六十四、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

六十五、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

六十六、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

六十七、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

六十八、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

六十九、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

七十、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

七十一、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

七十二、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

七十三、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

七十四、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

七十五、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

七十六、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

七十七、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

七十八、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

七十九、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

八十、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

八十一、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

八十二、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

八十三、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

八十四、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

八十五、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

八十六、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

八十七、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

八十八、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

八十九、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

九十、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

九十一、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

九十二、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

九十三、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

九十四、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

九十五、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

九十六、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

九十七、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

九十八、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

九十九、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

百、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

百一、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

百二、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

百三、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

百四、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

百五、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

百六、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

百七、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

百八、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

百九、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

百十、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

百十一、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

百十二、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

百十三、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

百十四、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

百十五、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

百十六、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

百十七、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

百十八、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

百十九、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

百二十、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

百二十一、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

百二十二、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

百二十三、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

百二十四、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

百二十五、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

百二十六、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

百二十七、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

百二十八、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

百二十九、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

百三十、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

百三十一、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

百三十二、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

百三十三、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

百三十四、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

百三十五、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

百三十六、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

百三十七、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

百三十八、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

百三十九、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

百四十、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

百四十一、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

百四十二、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

百四十三、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

百四十四、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

百四十五、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

百四十六、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

百四十七、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

百四十八、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

百四十九、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

百五十、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

百五十一、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

百五十二、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

百五十三、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

百五十四、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

百五十五、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

百五十六、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

百五十七、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

百五十八、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

百五十九、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

百六十、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

百六十一、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

百六十二、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

百六十三、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

百六十四、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

百六十五、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

百六十六、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

百六十七、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

百六十八、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

百六十九、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

百七十、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

百七十一、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

百七十二、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

百七十三、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

百七十四、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

百七十五、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

百七十六、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

百七十七、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

百七十八、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

百七十九、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

百八十、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

百八十一、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

百八十二、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

百八十三、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

百八十四、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

百八十五、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

百八十六、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

百八十七、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

百八十八、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

百八十九、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

百九十、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

百九十一、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

百九十二、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

百九十三、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

百九十四、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

百九十五、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

百九十六、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

百九十七、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

百九十八、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

百九十九、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

二百、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

二百一、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

二百二、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

二百三、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

二百四、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

二百五、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

二百六、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

二百七、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

二百八、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

二百九、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

二百十、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

二百十一、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

二百十二、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

二百十三、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

二百十四、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

二百十五、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

二百十六、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

二百十七、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

二百十八、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

二百十九、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

二百二十、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

二百二十一、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

二百二十二、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

二百二十三、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

二百二十四、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

二百二十五、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

二百二十六、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

二百二十七、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

二百二十八、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

二百二十九、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

二百三十、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

二百三十一、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

二百三十二、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

二百三十三、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

二百三十四、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

二百三十五、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

二百三十六、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

二百三十七、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

二百三十八、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

二百三十九、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

二百四十、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

二百四十一、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

二百四十二、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

二百四十三、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

二百四十四、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

二百四十五、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

二百四十六、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

二百四十七、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

二百四十八、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

二百四十九、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

二百五十、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

二百五十一、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

二百五十二、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

二百五十三、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

二百五十四、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

二百五十五、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

二百五十六、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

二百五十七、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

二百五十八、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

二百五十九、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

二百六十、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

二百六十一、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

二百六十二、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

二百六十三、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

二百六十四、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

二百六十五、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

二百六十六、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

二百六十七、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

二百六十八、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

二百六十九、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

二百七十、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

二百七十一、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

二百七十二、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

二百七十三、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

二百七十四、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

二百七十五、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

二百七十六、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

二百七十七、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

二百七十八、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

二百七十九、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

二百八十、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

二百八十一、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

二百八十二、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

二百八十三、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

二百八十四、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

二百八十五、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

二百八十六、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

二百八十七、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

二百八十八、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

二百八十九、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

二百九十、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

二百九十一、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

二百九十二、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

二百九十三、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

二百九十四、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

二百九十五、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

二百九十六、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

二百九十七、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

二百九十八、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

二百九十九、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

三百、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

三百一、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

三百二、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

三百三、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

三百四、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

三百五、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

三百六、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

三百七、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

三百八、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

三百九、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

三百十、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

三百十一、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

三百十二、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

三百十三、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

三百十四、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

三百十五、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

三百十六、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

三百十七、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

三百十八、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

三百十九、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

三百二十、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

三百二十一、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

三百二十二、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

三百二十三、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

三百二十四、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

三百二十五、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

三百二十六、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

三百二十七、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

三百二十八、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

三百二十九、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

三百三十、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

三百三十一、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

三百三十二、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

三百三十三、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

三百三十四、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

三百三十五、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

三百三十六、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

三百三十七、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

三百三十八、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

三百三十九、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

三百四十、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

三百四十一、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

三百四十二、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

三百四十三、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

三百四十四、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

三百四十五、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

三百四十六、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

三百四十七、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

三百四十八、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

三百四十九、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

三百五十、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

三百五十一、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

三百五十二、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

三百五十三、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

三百五十四、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

三百五十五、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

三百五十六、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

三百五十七、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

三百五十八、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

三百五十九、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

三百六十、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

三百六十一、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

三百六十二、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

三百六十三、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

三百六十四、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

三百六十五、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

三百六十六、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

三百六十七、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

三百六十八、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

三百六十九、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

三百七十、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

三百七十一、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

三百七十二、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

三百七十三、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

三百七十四、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

三百七十五、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

三百七十六、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

三百七十七、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

三百七十八、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

三百七十九、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

三百八十、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

三百八十一、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

三百八十二、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

三百八十三、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

三百八十四、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

三百八十五、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

三百八十六、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

三百八十七、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

三百八十八、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

三百八十九、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

三百九十、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

三百九十一、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

三百九十二、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

三百九十三、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

三百九十四、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

三百九十五、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

三百九十六、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

三百九十七、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

三百九十八、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

三百九十九、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

四百、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

四百一、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

四百二、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

四百三、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

四百四、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

四百五、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

四百六、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

四百七、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

四百八、回收麻袋は原則として一俵につき五錢宛の手數料を以て買上げること

四

牡丹崩れず

(承上回)

作 竹田敏彦
畫 岩田專太郎

爆彈演說 (20)

母子だと認へ話が出たが、

「あら……」

土間に立つて突つてゐる若い女の顏を見て驚きを立てた。昨はつい四五日前までて、母子が世話になつてゐた末村明子だつたら

「お能なりまなくて？」

「いいの。どうぞお上りなさい。よくいらしつてくだすつたわ」

母子は、あの時のこともあるので、母にも知つて、よく お詫も言つてもらはうと思ひ、明子を二階の自室に招じた。

「此間は、ほんとに御迷惑をかけまして、御勘辨は願ひ、一生忘れないわ」

心から詫を言つたが、明子は、

「何を言つてんの「お互さん」は着いものお世話するのが、當り前ちやないの。水臭いわ」

「私すくにも、母と一緒に、お詫に伺はなければならなかつたんですけど……」

「お詫なんかされるやうなことしてないわ。あなたの一生懸命を認めばかりして暮さえやならないわ。それよりお母さん、私が嫁家でもしてゐたやうに、隣組しちやなない」

「あら、そんなことないわ……」

ても嫁家してゐるので、でも、母は先方病院で突つたちたから、お詫にも伺へないので、申譯なく

を綴ひながら、ひどく恐縮して、繰返しく詫を言つた。母子は伺ふと、きまり悪げに開いてゐたが

「でも、木村さんは、何にここまでいらしつたのだらう」

一つの疑問が ふと胸に浮上つた自分の娘婿を 家にかけて、わざわざ詫を 家へ 伺ふやうな人でもなし、どちらかといへば、そんなところとは 縁遠い 方だ。

ところによると、この娘婿はまだ筆耕の 職を 定めず、モルモットの 如く 研究室に 出來上つた 新薬の 實驗を 專門に 引受けてゐるが、實驗後の 後遺症が 恐ろしくて 引受ける 者が 少ない。そこで 病院では 一日 一圓の 實驗料を 出して 募集するが、それでも 應募者が 少ない。

二、昨年 一月の ノモンハン 突發以來 戰線の 將兵に 對する 慰問袋の 數は 實に 數百萬個に 上つてゐるが、その 中 慰問文を 入れた ものは 僅かに 數十通 に 過ぎず、その 大部分は 慰問袋 製作者 自身の 住所 姓名を 記したる 名刺 又は 慰問文 のみで、中には 慰問袋 製作者 自身の 寫眞を 入れたる ものも あつたが、これ 等は 何れも 戰線の 將兵に 對する 慰問の 眞意義を 解せざる 者の 所爲で 甚だ 遺憾 である。

三、現下の 戰時狀勢に 鑑み 空軍の 飛行 將兵の 養成 を 急務と 認めて 居た 陸軍 航空本部 では 昨年 十月 一日 より 陸軍 飛行學校 豫科 生徒 の 採用 を 從來の 中學 四年 修了 者 より 中學 二年 修了 者 に 變更 し、 從來 の 採用 人員 の 約 二倍 を 採用 する 豫定 で 目下 全國 各地 に 於て 身體 檢査 を 行つて ゐる が、 豫科 生徒 志願者 の 數 は 豫定 の 約 三倍 に 達 し、 中には 中學 一年 修了 者 も 相當 數 ゐる 模樣 で ある。

◇社會事業の先驅者を語る「國風昭和」

人間には自己の名譽や利益を求める心があると同時に他人の不幸に同情し、その幸福を希ふ心があるが、世の中の不幸の救濟の救濟を志し、その爲に全生涯を捧げた人が社會事業の先驅者である。その一人として救濟社會事業の發展に盡力した先驅者、原胤昭翁が、彼として自己の財産を一文殘らず投じて不幸の人々に與へた人である。他の人々も、又孔子の門弟が、各々その一部分を出し合つて翁の爲に記念碑を建てたことは、翁の人格が如何に偉大であつたかを物語るものである。

朝の修養（七・〇一）

秋水 盛一

【七・〇五】臺北から 世界政治史講座

◇古代ギリシヤ・ローマ（三）

古代ギリシヤ、ローマにおける經濟組織の發展を略説的ながら說明したから話題が次に移つて經濟上の施設について述べる。

◇社會事業の先驅者を語る「國風昭和」

人間には自己の名譽や利益を求める心があると同時に他人の不幸に同情し、その幸福を希ふ心があるが、世の中の不幸の救濟の救濟を志し、その爲に全生涯を捧げた人が社會事業の先驅者である。その一人として救濟社會事業の發展に盡力した先驅者、原胤昭翁が、彼として自己の財産を一文殘らず投じて不幸の人々に與へた人である。他の人々も、又孔子の門弟が、各々その一部分を出し合つて翁の爲に記念碑を建てたことは、翁の人格が如何に偉大であつたかを物語るものである。

【七・一〇】臺北から 世界政治史講座

秋水 盛一

◇古代ギリシヤ・ローマ（三）

古代ギリシヤ、ローマにおける經濟組織の發展を略説的ながら說明したから話題が次に移つて經濟上の施設について述べる。

防空演習と硝子

岡田みのる

世四日からの防空演習に於ける各自の役割は、既に發表されたことと思ふが、防空の核心は、敵機の投彈に對する防護にあつて、敵機の投彈に對する防護にあつて、敵機の投彈に對する防護にあつて

重傷の白衣の勇士 輸血で蘇生

麗し愛國婦人の奉仕

【臺南電話】大阪の陸軍病院に入院中の重傷兵士に輸血をした臺南の愛國婦人會員

幸仁醫院の通りの醫院なので、輸血患者は幸仁醫院に志願して輸血して貰りました。私も自分の血が少しも疲れたり、自分の血だから安心して自分の血下されると思へば大變嬉しいものです。御陛下の御ために最も大切な血液にも大小の區別があるさうですが、どうしても多量の血液が必要だつたらいくらでも差上げたいと思ひます。

【臺南電話】臺南州下の愛國婦人會員中、赤十字病院に入院中の傷痍軍人に對し輸血を申出でた者は、去る二十日現在で二十名に達したが、二十五日も引續き募集したが午後三時までに新たに申出でた者はなかつた、尚ほ輸血を受けた傷痍軍人は、大阪、綿岡の各百姓さん達からの感謝の電報を受けてゐるが、この感謝の電報を受けた傷痍軍人こそ國に捧げた生命であり、もつとくり返へされた感謝の電報をこそ受けるべきであるミヨノさんを慰問する爲めに、朝から晩まで病院へ詰めかけてゐる婦人會員の自宅に訪れれば、病院を抱へながら言葉少なく語つた

軍國美談

【臺南電話】大阪の陸軍病院に入院中の重傷兵士に輸血をした臺南の愛國婦人會員

幸仁醫院の通りの醫院なので、輸血患者は幸仁醫院に志願して輸血して貰りました。私も自分の血が少しも疲れたり、自分の血だから安心して自分の血下されると思へば大變嬉しいものです。御陛下の御ために最も大切な血液にも大小の區別があるさうですが、どうしても多量の血液が必要だつたらいくらでも差上げたいと思ひます。

【臺南電話】大阪の陸軍病院に入院中の重傷兵士に輸血をした臺南の愛國婦人會員

「さうさうの陸軍病院からの感謝による輸血に感じて、私も輸血をしたいと思ひ、今日臺南州下の愛國婦人會員中、輸血適格者として選ばれた大和町二ノ一七番地、大和ミヨノさんを訪ねた、ミヨノさんは今年の春自轉車で轉倒して大腿骨を折つてゐるが、この婦人こそ支那に於つて生命を捧げた勇士の妻である、もつとくり返へされた感謝の電報をこそ受けるべきミヨノさんを慰問する爲めに、朝から晩まで病院へ詰めかけてゐる婦人會員の自宅に訪れれば、病院を抱へながら言葉少なく語つた

雨を冒して防空訓練

馬公街の護り完璧

【馬公發】馬公街における第二回防空訓練は二十四日午後六時より三時間實施せられたが當日は雨天の下に指揮の陣容を缺いて施されたが當日は雨天の下に指揮の陣容を缺いて施されたが當日は雨天の下に指揮の陣容を缺いて施され

悩みの☆ニキビ☆脂顔に 積極的お手當を

若い方を惱ますニキビは醫學的に言へば「面皰」と「痤瘡」といふ二つのものに別れてゐます。面皰の出來る原因は、顏や背中等の毛孔の入口を垢や塵がつまつて殺ひ、そのために壓迫される皮脂分が毛孔に詰るので、指先で押すと白い粥のやうな形になつて出て來るのです。

そしてこの面皰だけが膿腫に出來るのではなく、炎症を伴つてきます。殊に春先から夏にかけては脂を出す機能も旺盛となる上に、空氣力の塵々なバイキンが毛孔の中の面皰の脂肪中に侵入して、附近まで赤くはれ上る重症となるのです。これらの毒素は體の出方が、カサブタになつて膿い膿腫をながく殘しますから先づ治療が必要です。

先づ　これ等面皰や膿腫の出來るのは、若いから許りではなく、脂腺の方、また膿質、消化器病、婦人病などその主なる原因は、お手當としては勿論體の全體に關係をのぞくやうに、常體に保つやうに、常體に保つやうに、常體に保つ

皇帝陛下東京驛御到着

御宮眞は　天皇陛下（御左）と
皇帝陛下の御握手

滿洲國皇帝陛下

けふ多摩陵御參拜

御滯京第三日の御日程

【東京二十七日發同盟】滿洲國皇帝陛下には御滯京第三日の二十八日　皇帝陛下には御座所にて御朝食のとき前八時五十八分本日御誕辰に當り御祝詞奉呈の爲參内せる廣田外務大臣等を從へさせられ、自動車にて御出門、同九時十分御宿舎東京驛に御着、同十時十分東京發川崎御着、同十一時五十分御陵御參拜、同十時四十六分御着同十時五十分東京發御歸着。

午後一時には永田町の首相官邸に成らせられ帝國閣僚と會食御歓談、午後四時からは本邸へ入らせられ大東亜の元勲重臣等を御招待あらせられて御茶の會があり、午後六時半からは本邸御晩餐會があらせられる由である

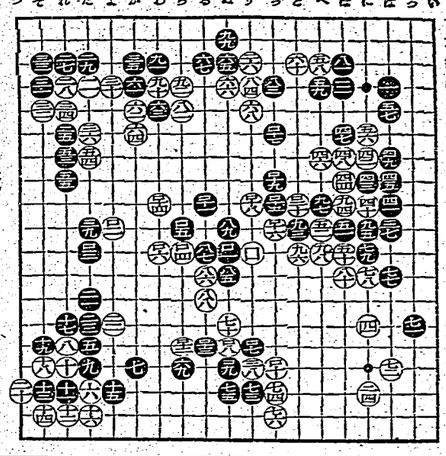
【太原二十七日發同盟】晋察冀軍は二十七日までに冀中の敵を殲滅し、殘敵の掃蕩に移つたが、二十日の共産軍の反攻は日本軍の冀中作戰の成果を一擧に覆さんとするもので、最近その準備を進めてゐたものである。最近その實力を發揮せんとするに至つたのは、

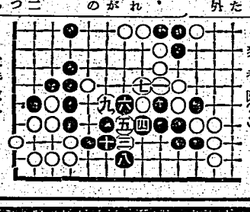
日本棋院主催 日本棋院五八拔敗退碁戰

（第二局ノ十）

岩本薫 段 ○
宮下秀洋 四段 ●

一二三四五六七八九十十一十二十三十四十五十六十七十八

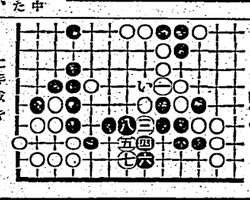




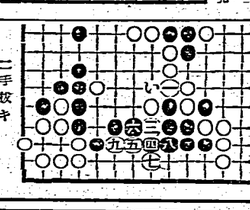
二手ビン（一目置）
指導問題（各九問題）
今以内討給

●一ロ三ち九
○一ロ一ち十五
●一ロ十六ち十二
○一ロ十八ち九
●一ロ二十ち八
○一ロ三十と九

二手ビン
參考圖(3)



二手ビン
參考圖(2)



二手ビン
參考圖(1)

つそれたよかわらるぬりちとへにはいい

鎬を削る攻防戰

黒の中央軍の運命や如何

評解　七段　小野田千代太郎

（第卅一）　昨紙に發表した白「つ」これは黒穴とキツた手が惡いのすサへが先手に利かぬ譯を參考圖に於て說明する

參考圖(1)　即ち白一に打つた時黒手を拔いても下邊の五子は取れないのである。白三黒四白五に次いで黒六とキレば良いやうに思斷するのは、大變な誤り、といふのは白七黒八白九とツキタる目いい手が在つて下邊の黒石を見かれない、つまり白九に依つて黒が出來ず、これ當るノ十四のオサへが先手に利かぬ所以である

◇さて黒七黒十五と打つて、中央の攻防戰は大詰となつて來た訳うなつて來ると見化が無數で、到底その部を詳らかにする事は困難である、從つて茲上に打たれた手に就て、最善最惡を試みる外はない

×　黒百十七で一十一にツグのは、自ら石づちを七にハバれて、これは黒として堪へ難の邊まに成果が持てまい、先づ斯う打つ位のものだらう

×　自百十八黒百十九の時、自百二十と打拔いて右上隅の七子を救つた手に就て小野田七段の講評がある

參考圖(2)　即ち前の參考圖(1)の白十一に對し黒十二と打つ時は、白十三と打つて黒の大石は助からない、從つて黒十二は白十三と打つ外はない、白十三に對し黒十四と打つ時は、白十五と打つて黒の大石は助からない、從つて黒十四は白十五と打つ外はない、白十五に對し黒十六と打つ時は、白十七と打つて黒の大石は助からない、從つて黒十六は白十七と打つ外はない、白十七に對し黒十八と打つ時は、白十九と打つて黒の大石は助からない、從つて黒十八は白十九と打つ外はない、白十九に對し黒二十と打つ時は、白二十一と打つて黒の大石は助からない、從つて黒二十は白二十一と打つ外はない、白二十一に對し黒二十二と打つ時は、白二十三と打つて黒の大石は助からない、從つて黒二十二は白二十三と打つ外はない、白二十三に對し黒二十四と打つ時は、白二十五と打つて黒の大石は助からない、從つて黒二十四は白二十五と打つ外はない、白二十五に對し黒二十六と打つ時は、白二十七と打つて黒の大石は助からない、從つて黒二十六は白二十七と打つ外はない、白二十七に對し黒二十八と打つ時は、白二十九と打つて黒の大石は助からない、從つて黒二十八は白二十九と打つ外はない、白二十九に對し黒三十と打つ時は、白三十一と打つて黒の大石は助からない、從つて黒三十は白三十一と打つ外はない、白三十一に對し黒三十二と打つ時は、白三十三と打つて黒の大石は助からない、從つて黒三十二は白三十三と打つ外はない、白三十三に對し黒三十四と打つ時は、白三十五と打つて黒の大石は助からない、從つて黒三十四は白三十五と打つ外はない、白三十五に對し黒三十六と打つ時は、白三十七と打つて黒の大石は助からない、從つて黒三十六は白三十七と打つ外はない、白三十七に對し黒三十八と打つ時は、白三十九と打つて黒の大石は助からない、從つて黒三十八は白三十九と打つ外はない、白三十九に對し黒四十と打つ時は、白四十一と打つて黒の大石は助からない、從つて黒四十は白四十一と打つ外はない、白四十一に對し黒四十二と打つ時は、白四十三と打つて黒の大石は助からない、從つて黒四十二は白四十三と打つ外はない、白四十三に對し黒四十四と打つ時は、白四十五と打つて黒の大石は助からない、從つて黒四十四は白四十五と打つ外はない、白四十五に對し黒四十六と打つ時は、白四十七と打つて黒の大石は助からない、從つて黒四十六は白四十七と打つ外はない、白四十七に對し黒四十八と打つ時は、白四十九と打つて黒の大石は助からない、從つて黒四十八は白四十九と打つ外はない、白四十九に對し黒五十と打つ時は、白五十一と打つて黒の大石は助からない、從つて黒五十は白五十一と打つ外はない、白五十一に對し黒五十二と打つ時は、白五十三と打つて黒の大石は助からない、從つて黒五十二は白五十三と打つ外はない、白五十三に對し黒五十四と打つ時は、白五十五と打つて黒の大石は助からない、從つて黒五十四は白五十五と打つ外はない、白五十五に對し黒五十六と打つ時は、白五十七と打つて黒の大石は助からない、從つて黒五十六は白五十七と打つ外はない、白五十七に對し黒五十八と打つ時は、白五十九と打つて黒の大石は助からない、從つて黒五十八は白五十九と打つ外はない、白五十九に對し黒六十と打つ時は、白六十一と打つて黒の大石は助からない、從つて黒六十は白六十一と打つ外はない、白六十一に對し黒六十二と打つ時は、白六十三と打つて黒の大石は助からない、從つて黒六十二は白六十三と打つ外はない、白六十三に對し黒六十四と打つ時は、白六十五と打つて黒の大石は助からない、從つて黒六十四は白六十五と打つ外はない、白六十五に對し黒六十六と打つ時は、白六十七と打つて黒の大石は助からない、從つて黒六十六は白六十七と打つ外はない、白六十七に對し黒六十八と打つ時は、白六十九と打つて黒の大石は助からない、從つて黒六十八は白六十九と打つ外はない、白六十九に對し黒七十と打つ時は、白七十一と打つて黒の大石は助からない、從つて黒七十は白七十一と打つ外はない、白七十一に對し黒七十二と打つ時は、白七十三と打つて黒の大石は助からない、從つて黒七十二は白七十三と打つ外はない、白七十三に對し黒七十四と打つ時は、白七十五と打つて黒の大石は助からない、從つて黒七十四は白七十五と打つ外はない、白七十五に對し黒七十六と打つ時は、白七十七と打つて黒の大石は助からない、從つて黒七十六は白七十七と打つ外はない、白七十七に對し黒七十八と打つ時は、白七十九と打つて黒の大石は助からない、從つて黒七十八は白七十九と打つ外はない、白七十九に對し黒八十と打つ時は、白八十一と打つて黒の大石は助からない、從つて黒八十は白八十一と打つ外はない、白八十一に對し黒八十二と打つ時は、白八十三と打つて黒の大石は助からない、從つて黒八十二は白八十三と打つ外はない、白八十三に對し黒八十四と打つ時は、白八十五と打つて黒の大石は助からない、從つて黒八十四は白八十五と打つ外はない、白八十五に對し黒八十六と打つ時は、白八十七と打つて黒の大石は助からない、從つて黒八十六は白八十七と打つ外はない、白八十七に對し黒八十八と打つ時は、白八十九と打つて黒の大石は助からない、從つて黒八十八は白八十九と打つ外はない、白八十九に對し黒九十と打つ時は、白九十一と打つて黒の大石は助からない、從つて黒九十は白九十一と打つ外はない、白九十一に對し黒九十二と打つ時は、白九十三と打つて黒の大石は助からない、從つて黒九十二は白九十三と打つ外はない、白九十三に對し黒九十四と打つ時は、白九十五と打つて黒の大石は助からない、從つて黒九十四は白九十五と打つ外はない、白九十五に對し黒九十六と打つ時は、白九十七と打つて黒の大石は助からない、從つて黒九十六は白九十七と打つ外はない、白九十七に對し黒九十八と打つ時は、白九十九と打つて黒の大石は助からない、從つて黒九十八は白九十九と打つ外はない、白九十九に對し黒百と打つ時は、白百一と打つて黒の大石は助からない、從つて黒百は白百一と打つ外はない、白百一に對し黒百二と打つ時は、白百三と打つて黒の大石は助からない、從つて黒百二は白百三と打つ外はない、白百三に對し黒百四と打つ時は、白百五と打つて黒の大石は助からない、從つて黒百四は白百五と打つ外はない、白百五に對し黒百六と打つ時は、白百七と打つて黒の大石は助からない、從つて黒百六は白百七と打つ外はない、白百七に對し黒百八と打つ時は、白百九と打つて黒の大石は助からない、從つて黒百八は白百九と打つ外はない、白百九に對し黒百十と打つ時は、白百十一と打つて黒の大石は助からない、從つて黒百十は白百十一と打つ外はない、白百十一に對し黒百十二と打つ時は、白百十三と打つて黒の大石は助からない、從つて黒百十二は白百十三と打つ外はない、白百十三に對し黒百十四と打つ時は、白百十五と打つて黒の大石は助からない、從つて黒百十四は白百十五と打つ外はない、白百十五に對し黒百十六と打つ時は、白百十七と打つて黒の大石は助からない、從つて黒百十六は白百十七と打つ外はない、白百十七に對し黒百十八と打つ時は、白百十九と打つて黒の大石は助からない、從つて黒百十八は白百十九と打つ外はない、白百十九に對し黒百二十と打つ時は、白百二十一と打つて黒の大石は助からない、從つて黒百二十は白百二十一と打つ外はない、白百二十一に對し黒百二十二と打つ時は、白百二十三と打つて黒の大石は助からない、從つて黒百二十二は白百二十三と打つ外はない、白百二十三に對し黒百二十四と打つ時は、白百二十五と打つて黒の大石は助からない、從つて黒百二十四は白百二十五と打つ外はない、白百二十五に對し黒百二十六と打つ時は、白百二十七と打つて黒の大石は助からない、從つて黒百二十六は白百二十七と打つ外はない、白百二十七に對し黒百二十八と打つ時は、白百二十九と打つて黒の大石は助からない、從つて黒百二十八は白百二十九と打つ外はない、白百二十九に對し黒百三十と打つ時は、白百三十一と打つて黒の大石は助からない、從つて黒百三十は白百三十一と打つ外はない、白百三十一に對し黒百三十二と打つ時は、白百三十三と打つて黒の大石は助からない、從つて黒百三十二は白百三十三と打つ外はない、白百三十三に對し黒百三十四と打つ時は、白百三十五と打つて黒の大石は助からない、從つて黒百三十四は白百三十五と打つ外はない、白百三十五に對し黒百三十六と打つ時は、白百三十七と打つて黒の大石は助からない、從つて黒百三十六は白百三十七と打つ外はない、白百三十七に對し黒百三十八と打つ時は、白百三十九と打つて黒の大石は助からない、從つて黒百三十八は白百三十九と打つ外はない、白百三十九に對し黒百四十と打つ時は、白百四十一と打つて黒の大石は助からない、從つて黒百四十は白百四十一と打つ外はない、白百四十一に對し黒百四十二と打つ時は、白百四十三と打つて黒の大石は助からない、從つて黒百四十二は白百四十三と打つ外はない、白百四十三に對し黒百四十四と打つ時は、白百四十五と打つて黒の大石は助からない、從つて黒百四十四は白百四十五と打つ外はない、白百四十五に對し黒百四十六と打つ時は、白百四十七と打つて黒の大石は助からない、從つて黒百四十六は白百四十七と打つ外はない、白百四十七に對し黒百四十八と打つ時は、白百四十九と打つて黒の大石は助からない、從つて黒百四十八は白百四十九と打つ外はない、白百四十九に對し黒百五十と打つ時は、白百五十一と打つて黒の大石は助からない、從つて黒百五十は白百五十一と打つ外はない、白百五十一に對し黒百五十二と打つ時は、白百五十三と打つて黒の大石は助からない、從つて黒百五十二は白百五十三と打つ外はない、白百五十三に對し黒百五十四と打つ時は、白百五十五と打つて黒の大石は助からない、從つて黒百五十四は白百五十五と打つ外はない、白百五十五に對し黒百五十六と打つ時は、白百五十七と打つて黒の大石は助からない、從つて黒百五十六は白百五十七と打つ外はない、白百五十七に對し黒百五十八と打つ時は、白百五十九と打つて黒の大石は助からない、從つて黒百五十八は白百五十九と打つ外はない、白百五十九に對し黒百六十と打つ時は、白百六十一と打つて黒の大石は助からない、從つて黒百六十は白百六十一と打つ外はない、白百六十一に對し黒百六十二と打つ時は、白百六十三と打つて黒の大石は助からない、從つて黒百六十二は白百六十三と打つ外はない、白百六十三に對し黒百六十四と打つ時は、白百六十五と打つて黒の大石は助からない、從つて黒百六十四は白百六十五と打つ外はない、白百六十五に對し黒百六十六と打つ時は、白百六十七と打つて黒の大石は助からない、從つて黒百六十六は白百六十七と打つ外はない、白百六十七に對し黒百六十八と打つ時は、白百六十九と打つて黒の大石は助からない、從つて黒百六十八は白百六十九と打つ外はない、白百六十九に對し黒百七十と打つ時は、白百七十一と打つて黒の大石は助からない、從つて黒百七十は白百七十一と打つ外はない、白百七十一に對し黒百七十二と打つ時は、白百七十三と打つて黒の大石は助からない、從つて黒百七十二は白百七十三と打つ外はない、白百七十三に對し黒百七十四と打つ時は、白百七十五と打つて黒の大石は助からない、從つて黒百七十四は白百七十五と打つ外はない、白百七十五に對し黒百七十六と打つ時は、白百七十七と打つて黒の大石は助からない、從つて黒百七十六は白百七十七と打つ外はない、白百七十七に對し黒百七十八と打つ時は、白百七十九と打つて黒の大石は助からない、從つて黒百七十八は白百七十九と打つ外はない、白百七十九に對し黒百八十と打つ時は、白百八十一と打つて黒の大石は助からない、從つて黒百八十は白百八十一と打つ外はない、白百八十一に對し黒百八十二と打つ時は、白百八十三と打つて黒の大石は助からない、從つて黒百八十二は白百八十三と打つ外はない、白百八十三に對し黒百八十四と打つ時は、白百八十五と打つて黒の大石は助からない、從つて黒百八十四は白百八十五と打つ外はない、白百八十五に對し黒百八十六と打つ時は、白百八十七と打つて黒の大石は助からない、從つて黒百八十六は白百八十七と打つ外はない、白百八十七に對し黒百八十八と打つ時は、白百八十九と打つて黒の大石は助からない、從つて黒百八十八は白百八十九と打つ外はない、白百八十九に對し黒百九十と打つ時は、白百九十一と打つて黒の大石は助からない、從つて黒百九十は白百九十一と打つ外はない、白百九十一に對し黒百九十二と打つ時は、白百九十三と打つて黒の大石は助からない、從つて黒百九十二は白百九十三と打つ外はない、白百九十三に對し黒百九十四と打つ時は、白百九十五と打つて黒の大石は助からない、從つて黒百九十四は白百九十五と打つ外はない、白百九十五に對し黒百九十六と打つ時は、白百九十七と打つて黒の大石は助からない、從つて黒百九十六は白百九十七と打つ外はない、白百九十七に對し黒百九十八と打つ時は、白百九十九と打つて黒の大石は助からない、從つて黒百九十八は白百九十九と打つ外はない、白百九十九に對し黒二百と打つ時は、白二百一と打つて黒の大石は助からない、從つて黒二百は白二百一と打つ外はない、白二百一に對し黒二百二と打つ時は、白二百三と打つて黒の大石は助からない、從つて黒二百二は白二百三と打つ外はない、白二百三に對し黒二百四と打つ時は、白二百五と打つて黒の大石は助からない、從つて黒二百四は白二百五と打つ外はない、白二百五に對し黒二百六と打つ時は、白二百七と打つて黒の大石は助からない、從つて黒二百六は白二百七と打つ外はない、白二百七に對し黒二百八と打つ時は、白二百九と打つて黒の大石は助からない、從つて黒二百八は白二百九と打つ外はない、白二百九に對し黒二百十と打つ時は、白二百十一と打つて黒の大石は助からない、從つて黒二百十は白二百十一と打つ外はない、白二百十一に對し黒二百十二と打つ時は、白二百十三と打つて黒の大石は助からない、從つて黒二百十二は白二百十三と打つ外はない、白二百十三に對し黒二百十四と打つ時は、白二百十五と打つて黒の大石は助からない、從つて黒二百十四は白二百十五と打つ外はない、白二百十五に對し黒二百十六と打つ時は、白二百十七と打つて黒の大石は助からない、從つて黒二百十六は白二百十七と打つ外はない、白二百十七に對し黒二百十八と打つ時は、白二百十九と打つて黒の大石は助からない、從つて黒二百十八は白二百十九と打つ外はない、白二百十九に對し黒二百二十と打つ時は、白二百二十一と打つて黒の大石は助からない、從つて黒二百二十は白二百二十一と打つ外はない、白二百二十一に對し黒二百二十二と打つ時は、白二百二十三と打つて黒の大石は助からない、從つて黒二百二十二は白二百二十三と打つ外はない、白二百二十三に對し黒二百二十四と打つ時は、白二百二十五と打つて黒の大石は助からない、從つて黒二百二十四は白二百二十五と打つ外はない、白二百二十五に對し黒二百二十六と打つ時は、白二百二十七と打つて黒の大石は助からない、從つて黒二百二十六は白二百二十七と打つ外はない、白二百二十七に對し黒二百二十八と打つ時は、白二百二十九と打つて黒の大石は助からない、從つて黒二百二十八は白二百二十九と打つ外はない、白二百二十九に對し黒二百三十と打つ時は、白二百三十一と打つて黒の大石は助からない、從つて黒二百三十は白二百三十一と打つ外はない、白二百三十一に對し黒二百三十二と打つ時は、白二百三十三と打つて黒の大石は助からない、從つて黒二百三十二は白二百三十三と打つ外はない、白二百三十三に對し黒二百三十四と打つ時は、白二百三十五と打つて黒の大石は助からない、從つて黒二百三十四は白二百三十五と打つ外はない、白二百三十五に對し黒二百三十六と打つ時は、白二百三十七と打つて黒の大石は助からない、從つて黒二百三十六は白二百三十七と打つ外はない、白二百三十七に對し黒二百三十八と打つ時は、白二百三十九と打つて黒の大石は助からない、從つて黒二百三十八は白二百三十九と打つ外はない、白二百三十九に對し黒二百四十と打つ時は、白二百四十一と打つて黒の大石は助からない、從つて黒二百四十は白二百四十一と打つ外はない、白二百四十一に對し黒二百四十二と打つ時は、白二百四十三と打つて黒の大石は助からない、從つて黒二百四十二は白二百四十三と打つ外はない、白二百四十三に對し黒二百四十四と打つ時は、白二百四十五と打つて黒の大石は助からない、從つて黒二百四十四は白二百四十五と打つ外はない、白二百四十五に對し黒二百四十六と打つ時は、白二百四十七と打つて黒の大石は助からない、從つて黒二百四十六は白二百四十七と打つ外はない、白二百四十七に對し黒二百四十八と打つ時は、白二百四十九と打つて黒の大石は助からない、從つて黒二百四十八は白二百四十九と打つ外はない、白二百四十九に對し黒二百五十と打つ時は、白二百五十一と打つて黒の大石は助からない、從つて黒二百五十は白二百五十一と打つ外はない、白二百五十一に對し黒二百五十二と打つ時は、白二百五十三と打つて黒の大石は助からない、從つて黒二百五十二は白二百五十三と打つ外はない、白二百五十三に對し黒二百五十四と打つ時は、白二百五十五と打つて黒の大石は助からない、從つて黒二百五十四は白二百五十五と打つ外はない、白二百五十五に對し黒二百五十六と打つ時は、白二百五十七と打つて黒の大石は助からない、從つて黒二百五十六は白二百五十七と打つ外はない、白二百五十七に對し黒二百五十八と打つ時は、白二百五十九と打つて黒の大石は助からない、從つて黒二百五十八は白二百五十九と打つ外はない、白二百五十九に對し黒二百六十と打つ時は、白二百六十一と打つて黒の大石は助からない、從つて黒二百六十は白二百六十一と打つ外はない、白二百六十一に對し黒二百六十二と打つ時は、白二百六十三と打つて黒の大石は助からない、從つて黒二百六十二は白二百六十三と打つ外はない、白二百六十三に對し黒二百六十四と打つ時は、白二百六十五と打つて黒の大石は助からない、從つて黒二百六十四は白二百六十五と打つ外はない、白二百六十五に對し黒二百六十六と打つ時は、白二百六十七と打つて黒の大石は助からない、從つて黒二百六十六は白二百六十七と打つ外はない、白二百六十七に對し黒二百六十八と打つ時は、白二百六十九と打つて黒の大石は助からない、從つて黒二百六十八は白二百六十九と打つ外はない、白二百六十九に對し黒二百七十と打つ時は、白二百七十一と打つて黒の大石は助からない、從つて黒二百七十は白二百七十一と打つ外はない、白二百七十一に對し黒二百七十二と打つ時は、白二百七十三と打つて黒の大石は助からない、從つて黒二百七十二は白二百七十三と打つ外はない、白二百七十三に對し黒二百七十四と打つ時は、白二百七十五と打つて黒の大石は助からない、從つて黒二百七十四は白二百七十五と打つ外はない、白二百七十五に對し黒二百七十六と打つ時は、白二百七十七と打つて黒の大石は助からない、從つて黒二百七十六は白二百七十七と打つ外はない、白二百七十七に對し黒二百七十八と打つ時は、白二百七十九と打つて黒の大石は助からない、從つて黒二百七十八は白二百七十九と打つ外はない、白二百七十九に對し黒二百八十と打つ時は、白二百八十一と打つて黒の大石は助からない、從つて黒二百八十は白二百八十一と打つ外はない、白二百八十一に對し黒二百八十二と打つ時は、白二百八十三と打つて黒の大石は助からない、從つて黒二百八十二は白二百八十三と打つ外はない、白二百八十三に對し黒二百八十四と打つ時は、白二百八十五と打つて黒の大石は助からない、從つて黒二百八十四は白二百八十五と打つ外はない、白二百八十五に對し黒二百八十六と打つ時は、白二百八十七と打つて黒の大石は助からない、從つて黒二百八十六は白二百八十七と打つ外はない、白二百八十七に對し黒二百八十八と打つ時は、白二百八十九と打つて黒の大石は助からない、從つて黒二百八十八は白二百八十九と打つ外はない、白二百八十九に對し黒二百九十と打つ時は、白二百九十一と打つて黒の大石は助からない、從つて黒二百九十は白二百九十一と打つ外はない、白二百九十一に對し黒二百九十二と打つ時は、白二百九十三と打つて黒の大石は助からない、從つて黒二百九十二は白二百九十三と打つ外はない、白二百九十三に對し黒二百九十四と打つ時は、白二百九十五と打つて黒の大石は助からない、從つて黒二百九十四は白二百九十五と打つ外はない、白二百九十五に對し黒二百九十六と打つ時は、白二百九十七と打つて黒の大石は助からない、從つて黒二百九十六は白二百九十七と打つ外はない、白二百九十七に對し黒二百九十八と打つ時は、白二百九十九と打つて黒の大石は助からない、從つて黒二百九十八は白二百九十九と打つ外はない、白二百九十九に對し黒三百と打つ時は、白三百一と打つて黒の大石は助からない、從つて黒三百は白三百一と打つ外はない、白三百一に對し黒三百二と打つ時は、白三百三と打つて黒の大石は助からない、從つて黒三百二は白三百三と打つ外はない、白三百三に對し黒三百四と打つ時は、白三百五と打つて黒の大石は助からない、從つて黒三百四は白三百五と打つ外はない、白三百五に對し黒三百六と打つ時は、白三百七と打つて黒の大石は助からない、從つて黒三百六は白三百七と打つ外はない、白三百七に對し黒三百八と打つ時は、白三百九と打つて黒の大石は助からない、從つて黒三百八は白三百九と打つ外はない、白三百九に對し黒三百十と打つ時は、白三百十一と打つて黒の大石は助からない、從つて黒三百十は白三百十一と打つ外はない、白三百十一に對し黒三百十二と打つ時は、白三百十三と打つて黒の大石は助からない、從つて黒三百十二は白三百十三と打つ外はない、白三百十三に對し黒三百十四と打つ時は、白三百十五と打つて黒の大石は助からない、從つて黒三百十四は白三百十五と打つ外はない、白三百十五に對し黒三百十六と打つ時は、白三百十七と打つて黒の大石は助からない、從つて黒三百十六は白三百十七と打つ外はない、白三百十七に對し黒三百十八と打つ時は、白三百十九と打つて黒の大石は助からない、從つて黒三百十八は白三百十九と打つ外はない、白三百十九に對し黒三百二十と打つ時は、白三百二十一と打つて黒の大石は助からない、從つて黒三百二十は白三百二十一と打つ外はない、白三百二十一に對し黒三百二十二と打つ時は、白三百二十三と打つて黒の大石は助からない、從つて黒三百二十二は白三百二十三と打つ外はない、白三百二十三に對し黒三百二十四と打つ時は、白三百二十五と打つて黒の大石は助からない、從つて黒三百二十四は白三百二十五と打つ外はない、白三百二十五に對し黒三百二十六と打つ時は、白三百二十七と打つて黒の大石は助からない、從つて黒三百二十六は白三百二十七と打つ外はない、白三百二十七に對し黒三百二十八と打つ時は、白三百二十九と打つて黒の大石は助からない、從つて黒三百二十八は白三百二十九と打つ外はない、白三百二十九に對し黒三百三十と打つ時は、白三百三十一と打つて黒の大石は助からない、從つて黒三百三十は白三百三十一と打つ外はない、白三百三十一に對し黒三百三十二と打つ時は、白三百三十三と打つて黒の大石は助からない、從つて黒三百三十二は白三百三十三と打つ外はない、白三百三十三に對し黒三百三十四と打つ時は、白三百三十五と打つて黒の大石は助からない、從つて黒三百三十四は白三百三十五と打つ外はない、白三百三十五に對し黒三百三十六と打つ時は、白三百三十七と打つて黒の大石は助からない、從つて黒三百三十六は白三百三十七と打つ外はない、白三百三十七に對し黒三百三十八と打つ時は、白三百三十九と打つて黒の大石は助からない、從つて黒三百三十八は白三百三十九と打つ外はない、白三百三十九に對し黒三百四十と打つ時は、白三百四十一と打つて黒の大石は助からない、從つて黒三百四十は白三百四十一と打つ外はない、白三百四十一に對し黒三百四十二と打つ時は、白三百四十三と打つて黒の大石は助からない、從つて黒三百四十二は白三百四十三と打つ外はない、白三百四十三に對し黒三百四十四と打つ時は、白三百四十五と打つて黒の大石は助からない、從つて黒三百四十四は白三百四十五と打つ外はない、白三百四十五に對し黒三百四十六と打つ時は、白三百四十七と打つて黒の大石は助からない、從つて黒三百四十六は白三百四十七と打つ外はない、白三百四十七に對し黒三百四十八と打つ時は、白三百四十九と打つて黒の大石は助からない、從つて黒三百四十八は白三百四十九と打つ外はない、白三百四十九に對し黒三百五十と打つ時は、白三百五十一と打つて黒の大石は助からない、從つて黒三百五十は白三百五十一と打つ外はない、白三百五十一に對し黒三百五十二と打つ時は、白三百五十三と打つて黒の大石は助からない、從つて黒三百五十二は白三百五十三と打つ外はない、白三百五十三に對し黒三百五十四と打つ時は、白三百五十五と打つて黒の大石は助からない、從つて黒三百五十四は白三百五十五と打つ外はない、白三百五十五に對し黒三百五十六と打つ時は、白三百五十七と打つて黒の大石は助からない、從つて黒三百五十六は白三百五十七と打つ外はない、白三百五十七に對し黒三百五十八と打つ時は、白三百五十九と打つて黒の大石は助からない、從つて黒三百五十八は白三百五十九と打つ外はない、白三百五十九に對し黒三百六十と打つ時は、白三百六十一と打つて黒の大石は助からない、從つて黒三百六十は白三百六十一と打つ外はない、白三百六十一に對し黒三百六十二と打つ時は、白三百六十三と打つて黒の大石は助からない、從つて黒三百六十二は白三百六十三と打つ外はない、白三百六十三に對し黒三百六十四と打つ時は、白三百六十五と打つて黒の大石は助からない、從つて黒三百六十四は白三百六十五と打つ外はない、白三百六十五に對し黒三百六十六と打つ時は、白三百六十七と打つて黒の大石は助からない、從つて黒三百六十六は白三百六十七と打つ外はない、白三百六十七に對し黒三百六十八と打つ時は、白三百六十九と打つて黒の大石は助からない、從つて黒三百六十八は白三百六十九と打つ外はない、白三百六十九に對し黒三百七十と打つ時は、白三百七十一と打つて黒の大石は助からない、從つて黒三百七十は白三百七十一と打つ外はない、白三百七十一に對し黒三百七十二と打つ時は、白三百七十三と打つて黒の大石は助からない、從つて黒三百七十二は白三百七十三と打つ外はない、白三百七十三に對し黒三百七十四と打つ時は、白三百七十五と打つて黒の大石は助からない、從つて黒三百七十四は白三百七十五と打つ外はない、白三百七十五に對し黒三百七十六と打つ時は、白三百七十七と打つて黒の大石は助からない、從つて黒三百七十六は白三百七十七と打つ外はない、白三百七十七に對し黒三百七十八と打つ時は、白三百七十九と打つて黒の大石は助からない、從つて黒三百七十八は白三百七十九と打つ外はない、白三百七十九に對し黒三百八十と打つ時は、白三百八十一と打つて黒の大石は助からない、從つて黒三百八十は白三百八十一と打つ外はない、白三百八十一に對し黒三百八十二と打つ時は、白三百八十三と打つて黒の大石は助からない、從つて黒三百八十二は白三百八十三と打つ外はない、白三百八十三に對し黒三百八十四と打つ時は、白三百八十五と打つて黒の大石は助からない、從つて黒三百八十四は白三百八十五と打つ外はない、白三百八十五に對し黒三百八十六と打つ時は、白三百八十七と打つて黒の大石は助からない、從つて黒三百八十六は白三百八十七と打つ外はない、白三百八十七に對し黒三百八十八と打つ時は、白三百八十九と打つて黒の大石は助からない、從つて黒三百八十八は白三百八十九と打つ外はない、白三百八十九に對し黒三百九十と打つ時は、白三百九十一と打つて黒の大石は助からない、從つて黒三百九十は白三百九十一と打つ外はない、白三百九十一に對し黒三百九十二と打つ時は、白三百九十三と打つて黒の大石は助からない、從つて黒三百九十二は白三百九十三と打つ外はない、白三百九十三に對し黒三百九十四と打つ時は、白三百九十五と打つて黒の大石は助からない、從つて黒三百九十四は白三百九十五と打つ外はない、白三百九十五に對し黒三百九十六と打つ時は、白三百九十七と打つて黒の大石は助からない、從つて黒三百九十六は白三百九十七と打つ外はない、白三百九十七に對し黒三百九十八と打つ時は、白三百九十九と打つて黒の大石は助からない、從つて黒三百九十八は白三百九十九と打つ外はない、白三百九十九に對し黒四百と打つ時は、白四百一と打つて黒の大石は助からない、從つて黒四百は白四百一と打つ外はない、白四百一に對し黒四百二と打つ時は、白四百三と打つて黒の大石は助からない、從つて黒四百二は白四百三と打つ外はない、白四百三に對し黒四百四と打つ時は、白四百五と打つて黒の大石は助からない、從つて黒四百四は白四百五と打つ外はない、白四百五に對し黒四百六と打つ時は、白四百七と打つて黒の大石は助からない、從つて黒四百六は白四百七と打つ外はない、白四百七に對し黒四百八と打つ時は、白四百九と打つて黒の大石は助からない、從つて黒四百八は白四百九と打つ外はない、白四百九に對し黒四百十と打つ時は、白四百十一と打つて黒の大石は助からない、從つて黒四百十は白四百十一と打つ外はない、白四百十一に對し黒四百十二と打つ時は、白四百十三と打つて黒の大石は助からない、從つて黒四百十二は白四百十三と打つ外はない、白四百十三に對し黒四百十四と打つ時は、白四百十五と打つて黒の大石は助からない、從つて黒四百十四は白四百十五と打つ外はない、白四百十五に對し黒四百十六と打つ時は、白四百十七と打つて黒の大石は助からない、從つて黒四百十六は白四百十七と打つ外はない、白四百十七に對し黒四百十八と打つ時は、白四百十九と打つて黒の大石は助からない、從つて黒四百十八は白四百十九と打つ外はない、白四百十九に對し黒四百二十と打つ時は、白四百二十一と打つて黒の大石は助からない、從つて黒四百二十は白四百二十一と打つ外はない、白四百二十一に對し黒四百二十二と打つ時は、白四百二十三と打つて黒の大石は助からない、從つて黒四百二十二は白四百二十三と打つ外はない、白四百二十三に對し黒四百二十四と打つ時は、白四百二十五と打つて黒の大石は助からない、從つて黒四百二十四は白四百二十五と打つ外はない、白四百二十五に對し黒四百二十六と打つ時は、白四百二十七と打つて黒の大石は助からない、從つて黒四百二十六は白四百二十七と打つ外はない、白四百二十七に對し黒四百二十八と打つ時は、白四百二十九と打つて黒の大石は助からない、從つて黒四百二十八は白四百二十九と打つ外はない、白四百二十九に對し黒四百三十と打つ時は、白四百三十一と打つて黒の大石は助からない、從つて黒四百三十は白四百三十一と打つ外はない、白四百三十一に對し黒四百三十二と打つ時は、白四百三十三と打つて黒の大石は助からない、從つて黒四百三十二は白四百三十三と打つ外はない、白四百三十三に對し黒四百三十四と打つ時は、白四百三十五と打つて黒の大石は助からない、從つて黒四百三十四は白四百三十五と打つ外はない、白四百三十五に對し黒四百三十六と打つ時は、白四百三十七と打つて黒の大石は助からない、從つて黒四百三十六は白四百三十七と打つ外はない、白四百三十七に對し黒四百三十八と打つ時は、白四百三十九と打つて黒の大石は助からない、從つて黒四百三十八は白四百三十九と打つ外はない、白四百三十九に對し黒四百四十と打つ時は、白四百四十一と打つて黒の大石は助からない、從つて黒四百四十は白四百四十一と打つ外はない、白四百四十一に對し黒四百四十二と打つ時は、白四百四十三と打つて黒の大石は助からない、從つて黒四百四十二は白四百四十三と打つ外はない、白四百四十三に對し黒四百四十四と打つ時は、白四百四十五と打つて黒の大石は助からない、從つて黒四百四十四は白四百四十五と打つ外はない、白四百四十五に對し黒四百四十六と打つ時は、白四百四十七と打つて黒の大石は助からない、從つて黒四百四十六は白四百四十七と打つ外はない、白四百四十七に對し黒四百四十八と打つ時は、白四百四十九と打つて黒の大石は助からない、從つて黒四百四十八は白四百四十九と打つ外はない、白四百四十九に對し黒四百五十と打つ時は、白四百五十一と打つて黒の大石は助からない、從つて黒四百五十は白四百五十一と打つ外はない、白四百五十一に對し黒四百五十二と打つ時は、白四百五十三と打つて黒の大石は助からない、從つて黒四百五十二は白四百五十三と打つ外はない、白四百五十三に對し黒四百五十四と打つ時は、白四百五十五と打つて黒の大石は助からない、從つて黒四百五十四は白四百五十五と打つ外はない、白四百五十五に對し黒四百五十六と打つ時は、白四百五十七と打つて黒の大石は助からない、從つて黒四百五十六は白四百五十七と打つ外はない、白四百五十七に對し黒四百五十八と打つ時は、白四百五十九と打つて黒の大石は助からない、從つて黒四百五十八は白四百五十九と打つ外はない、白四百五十九に對し黒四百六十と打つ時は、白四百六十一と打つて黒の大石は助からない、從つて黒四百六十は白四百六十一と打つ外はない、白四百六十一に對し黒四百六十二と打つ時は、白四百六十三と打つて黒の大石は助からない、從つて黒四百六十二は白四百六十三と打つ外はない、白四百六十三に對し黒四百六十四と打つ時は、白四百六十五と打つて黒の大石は助からない、從つて黒四百六十四は白四百六十五と打つ外はない、白四百六十五に對し黒四百六十六と打つ時は、白四百六十七と打つて黒の大石は助からない、從つて黒四百六十六は白四百六十七と打つ外はない、白四百六十七に對し黒四百六十八と打つ時は、白四百六十九と打つて黒の大石は助からない、從つて黒四百六十八は白四百六十九と打つ外はない、白四百六十九に對し黒四百七十と打つ時は、白四百七十一と打つて黒の大石は助からない、從つて黒四百七十は白四百七十一と打つ外はない、白四百七十一に對し黒四百七十二と打つ時は、白四百七十三と打つて黒の大石は助からない、從つて黒四百七十二は白四百七十三と打つ外はない、白四百七十三に對し黒四百七十四と打つ時は、白四百七十五と打つて黒の大石は助からない、從つて黒四百七十四は白四百七十五と打つ外はない、白四百七十五に對し黒四百七十六と打つ時は、白四百七十七と打つて黒の大石は助からない、從つて黒四百七十六は白四百七十七と打つ外はない、白四百七十七に對し黒四百七十八と打つ時は、白四百七十九と打つて黒の大石は助からない、從つて黒四百七十八は白四百七十九と打つ外はない、白四百七十九に對し黒四百八十と打つ時は、白四百八十一と打つて黒の大石は助からない、從つて黒四百八十は白四百八十一と打つ外はない、白四百八十一に對し黒四百八十二と打つ時は、白四百八十三と打つて黒の大石は助からない、從つて黒四百八十二は白四百八十三と打つ外はない、白四百八十三に對し黒四百八十四と打つ時は、白四百八十五と打つて黒の大石は助からない、從つて黒四百八十四は白四百八十五と打つ外はない、白四百八十五に對し黒四百八十六と